

がん看護	3年・後期	1単位	教授 本吉 美也子
科目カテゴリー	看護の統合	科目ナンバリング	34111023

1. 授業のねらい・概要

本科目はがん患者への医療の現状と治療、およびそれに伴う苦痛を理解し、がん看護の在り方を理解する。

2. 学修の到達目標

1. がん医療の現状について理解できる。
2. がんの病態と経過について理解できる。
3. がん患者の苦痛や心理的サポートについて理解できる。
4. がんの集学的治療とそれぞれ看護の基本について理解できる。
5. がん治療の合併症や副作用対策について理解できる。
6. がん患者の在宅療養支援について理解できる。

3. 授業の進め方

講義と視聴覚教材を中心に授業展開する。がん患者を看護する看護師として知っておかなければならない知識とケアについて教科書で事前に確認し、それらがイメージできるよう視聴覚教材を用いる。さらに事例を通して実際の看護ケアについて学んでいく。

4. 授業計画（講義）

1. がんの取り巻く状況とがんサバイバーへの支援①	5. がんの治療と看護：放射線療法
2. がんの取り巻く状況とがんサバイバーへの支援②	6. がんの治療と看護：手術療法
3. がん緩和ケア	7. 外来がん看護とがんリハビリテーション
4. がんの治療と看護：薬物療法	8. がん患者の療養支援

5. 成績評価の方法・基準

評価は、定期試験（80%）、平常点・課題レポート（20%）を基準として総合的に評価する。

6. テキスト・参考文献

テキスト：1)系統看護学講座 成人看護学 別冊 がん看護学 医学書院，
参考文献：随時紹介する

7. 準備学習に必要な時間、又はそれに準じる程度の具体的な内容

シラバスの授業計画の範囲について、1時間の予習と1時間の復習を必要とする。

8. 受講上の留意事項

テキストを中心に学習を進めるので事前に該当の分野を読み、疑問点を明確にして授業に臨むこと。

9. 課題に対するフィードバックの方法

試験終了後、口頭または掲示で解答や解説を周知する。

10. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

必修科目であり、修得できない場合進級不可となる。

11. 実務経験のある教員等による授業科目

緩和ケア病棟のある医療機関におけるがん看護の実務経験を活かして講義を行う。